

第30回 英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける —

対象：中学校・高等学校英語科教員または教員志望。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：英語教育についての理解を深める

期日：平成27年7月31日（金）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3401R）

定員：80名

◆ 講義・発表内容

講義①「日本語・英語の音声システムの違いと発音・聞き取りの習得」

川崎 貴子（法政大学）

母語と第二言語の違いは、第二言語を学ぶときにエラーにつながります。とりわけ音声分野では言語間の違いが問題につながることが知られています。ご存知のように、英語の音で日本語に存在しない音は発音・聞き取りともに難しいことが多いです。今回の講義では、日本語と英語の音声システムがどのように異なるか、いくつかの例を挙げてご紹介します。そして、どのような指導が習得の促進につながるのか、考えていきたいと思います。

講義②「多言語・多文化への「気づき」からはじまる言語学習」

山川 智子（文教大学）

現代社会で生きていくための様々な問題解決能力のひとつは、多言語・多文化への「気づき」から育まれます。しかし私たちは、未知の言語や文化に対して躊躇いなく心をひらくことがなかなかできません。本講座では、身近な異言語・異文化理解を積み重ねることが、「国際」理解への素地を育むことにつながり、さらにはそれが英語学習への本質的な動機づけをも生み出す、ということに参加者とともに考えていきたいと思います。

講義③「学習者オートノミーを育む英語指導者の役割」

小嶋 英夫（文教大学）

文部科学省は、教育の再生に向けて「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を推進しつつあります。今後は、小・中・高を通じた一貫性のある英語教育が強調されます。本講義では、これに通じる教育理念の一つとして、生涯学習にもつながる「学習者オートノミー」の育成を取り上げ、それを支える英語指導者の役割について、日常の英語授業と関連させながら、皆さんと一緒に考えます。

文教大学 言語文化研究所 夏期講座

平成27年 7月30日(木)・31日(金) ※30日は書道のみ

英語教育夏期講座

日本語教育夏期講座

中国語教育夏期講座

10:30
~
12:00

「日本語・英語の音声システムの
違いと発音・聞き取りの習得」
川崎 貴子 (法政大学)

「音声言語の重要性」

城生 佰太郎 (文教大学)

「日本語との緊密性に着眼する

中国語学習について

何 蔚泓 (北京外国語大学)

13:00
~
14:30

「多言語・多文化への
「気づき」からはじまる言語学習」
山川 智子 (文教大学)

「アクセントを楽して覚えよう！」

松崎 寛 (筑波大学)

「高校における中国語教育の状況と展望

—日本の外国語教育を考えながら—

藤井 達也 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校)

14:45
~
16:15

「学習者オートノミーを育む
英語指導者の役割」
小嶋 英夫 (文教大学)

「発音がうまい人は、
なぜ発音がうまい？」

松崎 寛 (筑波大学)

中華料理のレシピを読んでみよう

—レアリアで学ぶ中国語

植村 麻紀子 (神田外語大学)

書写書道教育夏期講座

※受講無料(但し資料代500円。書道のみ1,000円)

A・書文化コース

吉沢 義和(元文教大学文学部教授)

B・学校教育コース

豊口 和士(文教大学)

10:30
~
12:00

「創作(1)」
・ 創作の手順

「学習指導要領解説」
(小中高)

13:00
~
14:30

「創作(2)」
・ 漢字の書を中心に
作品の構想を練る

「実技(1)」
・ 基本的な用筆法・運筆法

14:45
~
16:15

「創作(3)」
・ 構想をもとに試書する

「実技(2)」
・ 漢字(楷書)

10:30
~
12:00

「創作(4)」
・ 小品(半切以下)を
仕上げる

「実技(3)」
・ 漢字(行書)

13:00
~
14:30

「実技(4)」
・ 平仮名・片仮名
・ 漢字仮名交じりの書

14:45
~
16:15

講義
・ 書の鑑賞の態度

「実技(5)」
・ その他(草書・隷書・篆書・仮名など)



30
日
(木)

31
日
(金)

主催：文教大学大学院言語文化研究所

申込締切：平成27年7月16日(木)必着

問合せ：(048)974-8811

お申込み：<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>